基本方針５　スポーツの振興

スポーツは、体力の向上や健康の保持増進だけでなく、精神的充足や楽しさ、喜びをもたらし、人とのつながりを生み出すなど、心の豊かさをはぐくむ文化です。

近年、多くのプロスポーツなどトップアスリートの競技を身近に観戦する機会が増えるとともに、2019年にラグビーワールドカップ、2020 年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、スポーツに対する関心が一層高まってきています。

こうしたなか、スポーツを「する」だけではなく、「みる」「支える」といった多様なニーズに応えるとともに、年齢や性別、障がい等を問わず、市民のだれもが生涯にわたってスポーツに参画することができるよう、環境を整備していくことが求められています。

重点施策(１)　生涯スポーツの推進

現状及び課題

市民がライフステージに応じてスポーツ活動に取り組むことは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むために不可欠です。

本市では、平成 22 年 3 月に大分市スポーツ振興基本計画を策定（平成 26 年改訂）し、計画的にスポーツ施策を推進していますが、市民の週 1 回以上のスポーツ実施率は国の目標値と比較すると低い状況にあります。

このようなことから、今後とも、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも日常的にスポーツに親しむことができる環境の整備やスポーツイベントへの参画機会の充実を図る必要があります。

具体的施策①　広く市民が参加できる各種スポーツ事業の充実を図ります。

主な取組	大分市スポーツフェスタ※28 の開催支援		
取組の概要	○　各競技団体と連携し、初心者、子どもから高齢者、障がい者まで多くの市民がスポーツに親しみながら心身の健康づくりや、世代を超えた交流を図るとともに、各競技人口の拡大などに向け実施方法や内容の充実に努めます。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
大分市スポーツフェスタの参加者数	5,048 人	6,000 人	6,750 人

※28　大分市スポーツフェスタ…スポーツに親しみながら心身の健康づくりや体力増進のきっかけづくり、世代を超えた交流を深めるための体験教室やイベント。

具体的施策②　校区・地区体育協会の各種活動を支援し、地域における多様なスポーツ活動を推進します。

主な取組	校区・地区体育協会への支援		
取組の概要	○　校区・地区体育協会と連携し、体育祭や球技大会など、地域住民が気軽に参加できる地域スポーツの推進に努めるとともに、各協会主催のスポーツ教室や体力テストなどの開催支援を行います。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
校区・地区開催スポーツ行事参加者数☆	36,161 人	増加	増加

☆参加者数…校区・地区体育協会が開催する体育祭・スポーツ教室・体力テスト・グラウンドゴルフ・ゲートボール・ウォーキングの参加者数。

具体的施策③　総合型地域スポーツクラブ※29 の地域の実情に応じた創設や活動区域の拡大を支援するとともに、自主的運営の定着を図ります。

主な取組	総合型地域スポーツクラブの新規創設や自主的運営の定着に向けた支援		
取組の概要	○　新規創設を目指す地域への助言やアドバイスを行うとともに、既存クラブの自主的運営の定着に向けた育成支援を行います。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
総合型地域スポーツクラブの会員数	9,200 人	9,300 人	9,400 人

具体的施策④　生涯にわたってスポーツに親しむ基礎を培うため、幼少期からスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりに努めます。

主な取組	運動好きな子どもの増大に向けた環境整備		
取組の概要	○　子どもの運動する機会の増大に向け、学校、家庭、地域が連携し、多様な活動体験を通した運動に親しむ環境づくりを行います。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
運動好きな児童生徒の割合☆	小学生　64% 中学生　58%	小学生　68% 中学生　62%	小学生　73% 中学生　67%

☆児童生徒の割合…大分県児童生徒の体力・運動能力等調査（小学校４年生以上を対象）

※29　総合型地域スポーツクラブ・・・子どもから高齢者まで、それぞれの興味・関心に応じて、スポーツを中心にさまざまな種目を楽しむ非営利の組織。受益者負担を原則として地域の人たちが主体的に運営。

具体的施策⑤　さまざまな広報媒体を活用し、スポーツイベントや教室などの情報提供に努めます。

主な取組	市報やホームページなどを利用した情報提供機能の充実		
取組の概要	○　市報や大分市ホームページ、ケーブルテレビなどの広報媒体を通して、各種スポーツイベントや教室の情報提供に努めます。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
―	―	―	―

具体的施策⑥　利用者の利便性向上のため、施設情報の提供や予約機能の充実に努めます。

主な取組	施設情報の提供や予約機能の充実		
取組の概要	○　公共施設案内・予約システム※30の平成 31 年度の更新に向けて、より利便性の高いシステムの構築を目指します。 ○　公共施設案内・予約システムの広域化に向けて、他市町村と連携し、施設情報の提供等の拡大を目指します。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
公共施設案内・予約システム登録者数	18,270 人	22,000 人	27,000 人

※30　公共施設案内・予約システム…公共施設（文化・体育施設）の案内情報や空き状況検索や予約ができるシステム。利用者登録をすることにより抽選申込みや利用申込みが、街頭端末、インターネット、携帯端末からでも可。

重点施策(２)　競技スポーツの振興

現状及び課題

本市選手が競技力を向上させ、オリンピックなどの国際大会や日本トップレベルの全国大会で優秀な成績を収め活躍する姿は、市民に多くの感動を与えるとともに、スポーツへの興味・関心が高まり、活力のある社会の形成につながります。

本市では、これまで各種競技団体への活動支援や選手の育成・強化及び大学・企業などへのスポーツ振興の働きかけに取り組んできました。

今後も、国際大会や全国大会などで活躍できる選手の育成に向け、さらに関係諸機関と連携し、競技スポーツの振興を図る必要があります。

具体的施策①　各種競技団体の活動を支援します。

主な取組	各競技団体への活動支援		
取組の概要	○　本市体育協会加盟の競技団体に対し、強化練習のための施設の優先利用や強化費、活動費などの支援を行います。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
県民体育大会　優勝競技数（37 競技中）☆	25	27	27

☆競技数…（　）内は、郡市対抗競技数

具体的施策②　全国大会や国際大会に向けて選手の競技力向上に努めます。

主な取組	スポーツ少年団やクラブチームへの支援		
取組の概要	○　県や県体育協会の各競技団体と連携し、競技力の向上を図るとともに、全国大会などに出場するスポーツ少年団やクラブチームなどへの支援を行います。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
全国大会出場数☆	66 チーム	70 チーム	74 チーム

☆現状（H27 年度）の内訳…スポーツ少年団（27 チーム）、中学校部活動（11 校）、クラブチーム（10 チーム）、高校生・社会人（18 チーム）

具体的施策③　**県や大学・企業等との連携を強化し、競技スポーツの振興に努めます。**

主な取組	県や大学・企業などへのスポーツ振興の働きかけ		
取組の概要	○　県民体育大会や県内一周駅伝競走大会などの各種大会で活躍が期待される選手の人材育成を県や大学・企業等に働きかけます。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
―	―	―	―

重点施策(３)　スポーツを指導･支援する人材の育成

現状及び課題

スポーツ少年団や中学校部活動の指導者に対して、発達の段階に応じた適切な指導が行われるよう、さまざまな研修会を行っています。

今後も、生涯スポーツの推進やスポーツの振興のための指導体制の確立や指導者の養成が求められていることから、指導者の養成・確保と資質の向上を図るため、各種研修会の充実と公認スポーツ指導者の資格取得を推進する必要があります。

具体的施策①　スポーツ指導者の養成や確保に向けて競技団体との連携を図ります。

主な取組	スポーツ少年団の指導者及びリーダーの養成		
取組の概要	○　スポーツ少年団の活性化を図り、子どもたちにより安全で効果的な指導を行うために、スポーツ少年団認定員※31 養成講習会を開催し、日本体育協会公認の有資格指導者の養成を推進します。 ○　スポーツ少年団の模範となって活動する若手リーダー※32 を育成するため、リーダー養成スクールへの参加促進や、リーダー会活動の活性化を推進します。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
スポーツ少年団認定員養成講習会による有資格指導者数	116 人	430 人	830 人

具体的施策②　各種講演会や研修会などを開催するなかで、指導者の指導力向上を図ります。

主な取組	指導者研修会などの充実		
取組の概要	○　各競技団体の指導者やスポーツ推進委員の資質向上を図るため、「スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会」や「スポーツ推進委員研修会」、「運動部活動指導者研修」などを開催します。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
各種研修会の参加者数	895 人	1,200 人	1,300 人

※31　スポーツ少年団認定員…単位スポーツ少年団活動の中心的指導者として、スポーツ少年団の理念にのっとり、その指導・運営等に当たる指導者。
※32　若手リーダー…日本スポーツ少年団や都道府県スポーツ少年団が開催するリーダースクールを修了した小学 5 年生から 20 歳未満までのスポーツ少年団のリーダー的役割を担う人材。

具体的施策③　スポーツイベントにおけるボランティアの活用を促進します。

主な取組	スポーツボランティア活動の推進		
取組の概要	○　市民の「支えるスポーツ」への関心を高め、スポーツボランティアとして活動してもらうため、関係機関と連携を図り、市民がボランティアとして参加しやすい環境づくりに努めます。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
各種スポーツイベントの市民ボランティア参加者数	1,996 人	増加	増加

重点施策(４)　スポーツ施設の整備

現状及び課題

スポーツ施設の整備・充実は、市民の運動・スポーツ活動にとって不可欠な要素の一つです。

現在の本市のスポーツ施設においては、建設後 30 年以上が経過している施設が約70%を占めています。

また、施設については、地域的なバランスに一層配慮した整備が求められています。

このようなことから、今後の本市のスポーツ振興を図っていくためには、本市の有するスポーツ施設について、老朽化に伴う長寿命化や充実した魅力あるスポーツ施設の整備を進めていくとともに、施設配置の在り方についても検討していく必要があります。

具体的施策①　施設の計画的な維持管理と有効活用に努めます。

主な取組	計画的な施設維持管理		
取組の概要	○　既存の市有スポーツ施設（グラウンド、体育館、テニスコート、プール等）の計画的な維持管理に努めます。 ○　市民の多様なスポーツニーズに応じた施設利用を促進するため、可能な限り他の用途への利用について柔軟な対応を行い、施設の有効な利活用を図ります。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
―	―	―	―

具体的施策②　更新時期を迎える施設については、長期的な視野に立ち、計画的な整備・充実に努めます。

主な取組	更新時期を迎える施設の整備・充実		
取組の概要	○　大分市教育施設整備保全計画に沿い、長寿命化が期待できる施設について計画的に整備を行います。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
大分市教育施設整備保全計画の更新対象施設の整備実施割合	0%	60%	73%

具体的施策③　地域スポーツの交流拠点として、学校施設の効率的な利用を促進します。

主な取組	学校体育施設の効率的な利用の促進		
取組の概要	○　学校や地域の実情に応じて、地域スポーツの交流拠点として住民が学校体育施設を効率的に利用できるよう検討していきます。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
学校体育施設の利用団体延べ数	1,045	1,150	1,300

重点施策(５)　スポーツを通じた地域活性化

現状及び課題

近年、多くのプロスポーツなどトップアスリートの競技を身近に観戦する機会が増えるとともに、2019 年にラグビーワールドカップ、2020 年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、スポーツに対する関心が一層高まってきています。

こうしたなか、「する」「みる」「支える」といったスポーツへの関わり合いが促進されることで、市民生活にはさまざまな「人と人とのつながり」が誕生します。このような人と人とのつながりを活用し、人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、観光振興、地域の活性化につなげる必要があります。

具体的施策①　本市をホームタウンとするプロスポーツチームを応援する気運を高めるとともに、選手と市民の交流を図ります。

主な取組	プロスポーツチームの選手と市民の交流		
取組の概要	○　ホームゲームへの市民無料招待や、学校・スポーツ少年団などへ選手が訪問し、市民との交流を図ります。 ○　「おおいたスポーツ広場」の開催など、市民と選手のスポーツ交流イベントを実施します。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
―	―	―	―

具体的施策②　ラグビーワールドカップ 2019 の大会の成功及び 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ地誘致に向けた取組を通じて地域の活性化を図ります。

主な取組	ラグビーワールドカップ 2019 に向けた機運の醸成、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前キャンプ誘致		
取組の概要	○　ラグビーワールドカップ 2019 日本大会及び 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、本市を訪れる外国人観光客の受入態勢の整備等に取り組むことで、大会に向けた機運の醸成を図ります。 ○　参加国、地域等の事前キャンプの誘致、受け入れを行うことで、人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、観光振興、地域の活性化につなげます。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
事前キャンプ誘致数（累積）	3	11	13

具体的施策③　各種スポーツ大会の誘致、スポーツ交流の促進を図ります。

主な取組	トップレベルのスポーツ大会やキャンプの誘致によるスポーツ交流の促進		
取組の概要	○　県や県体育協会、競技団体と連携を図り、トップレベルのスポーツ大会やトレーニングキャンプを誘致し、スポーツ交流を促進します。		
指　標	現状（H27 年度）	H31 年度	H36 年度
―	―	―	―